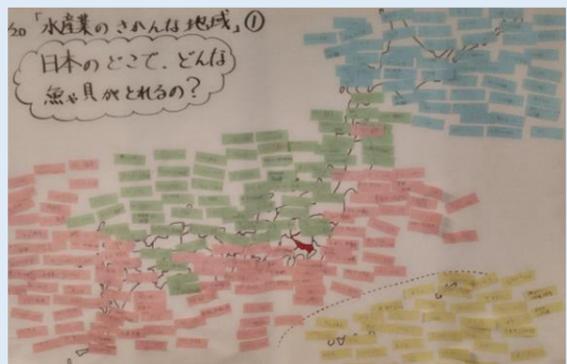


活用アプリ：コラボノートEX・動画教材（ニュース映像）

5学年【社会】

水産業のさかんな地域

本時のねらい：すすんで水産業についての疑問を考えて伝えたり、友達の考えを受け止めたりしようすることができる。



▶ 授業の展開

1. 「さんま不漁のニュース」の動画教材を視聴する。
2. 「日本の漁業生産量の変化」「漁業で働く人数の変化」の資料を読み、魚の獲れる量や漁業で働く人の数が減っていることを確かめる。
3. 様々な問題がある中でも、消費者のもとに魚が届いていることについて、自分の考えをもつ。
4. コラボノートEXを活用し、考えを交流する。
5. 子どもたちから出た疑問から、学習問題をつくる。
6. 本時の学びを振り返る。

▶ 授業の振り返り

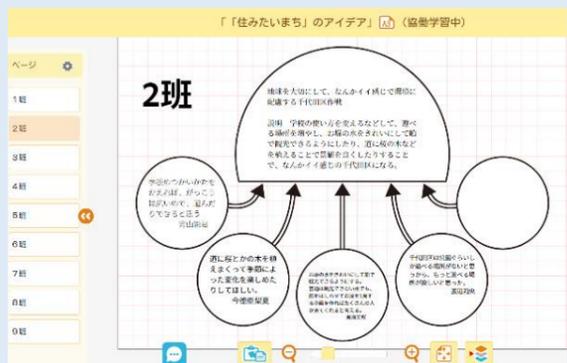
コラボノートEXを活用して、互いの意見を見合いながら取り組ませたことで、自分の考えに自信をもって発言しようとする姿や、友達の考えを認めようとする姿を見取ることができた。

活用アプリ：コラボノートEX・AIAIモンキー

6学年【総合的な学習の時間】

自分たちが住みたいまちを考えよう

本時のねらい：自分たちの住みたいまちを考えるにあたって、友達の考えとの違いや自他の考えのよさを生かしなが、考えを整理しようすることができる。



▶ 授業の展開

1. 「まちづくり」を考えるうえで大切なことについて、これまで収集した情報や社会科見学で得た知見を振り返る。
2. 「住みたいまち」の実現に向けて、自分が選んだ視点に基づいて課題を解決するためのアイデアを考える。
3. コラボノートEXで「クラゲチャート」を活用し、住みたいまちのアイデアを交流する。
4. クラス全体で交流し、アイデアの共通点や相違点について話し合う。
5. AIAIモンキーを活用し、本時の学びを振り返る。

▶ 授業の振り返り

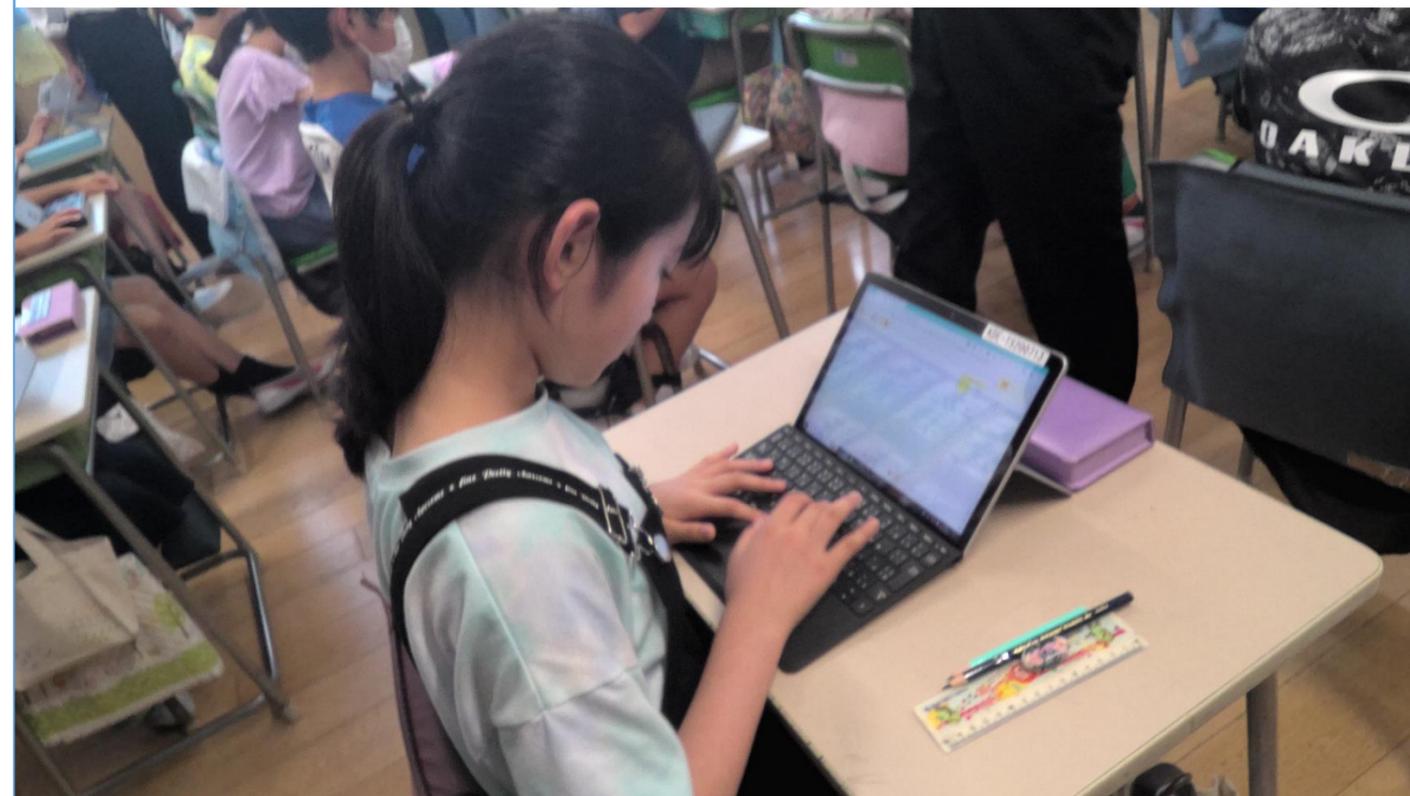
コラボノートEXを活用して互いの考えを共有しながらアイデアを交流させたことで、友達の考えとの違いや自他の考えのよさを生かしながら学ぶ子どもたちの姿を見取ることができた。

令和5年度

KUDAN



千代田区立九段小学校 ICT活用の授業事例



活用アプリ：コラボノートEX・カメラ機能

1学年【生活】

あさがおの観察

本時のねらい：あさがおを観察し、気付いたことや思ったことをまとめることができる。



▶ 授業の展開

1. タブレットのカメラ機能を使って、あさがおの写真撮る。
2. あさがおの写真をコラボノートEXに貼り付け、共有する。
3. これまでのあさがおの写真と見比べる。
4. あさがおの世話をして、気付いたことを話し合う。

▶ 授業の振り返り

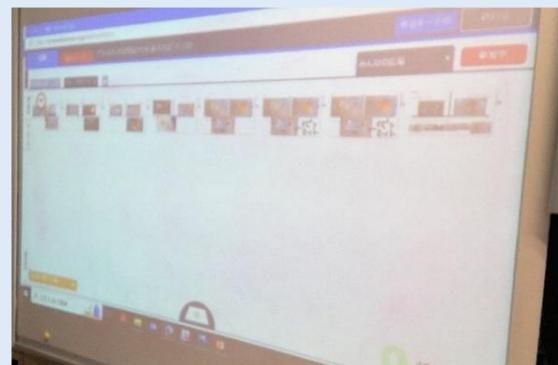
写真を活用したことで、あさがおの変化が明確になり、あさがおの成長に気付くことができた。また、写真に撮った友達のあさがおを見合うことで、互いのあさがおの様子を見比べようとすることができた。

活用アプリ：ムーブノート

3学年【理科】

磁石の性質

本時のねらい：電気を通す物を調べる活動に進んで取り組み、友達と実験結果などを互いに伝え合いながら、問題解決をしようとすることができる。



▶ 授業の展開

1. 前時にまとめた実験結果（写真でムーブノートに保存）を各班で確認し、その結果から考えられる結論を話し合う。
2. 導き出した結論から違和感を覚えた点（友達と実験結果が異なったもの、結果が未確定なもの）についてデスターで確認実験を行う。
3. 確認実験の情報共有をしながら判断して、ムーブノートに伝導性の有無について記録する。
4. 友達の実験結果や、やり直した結果を基に、より妥当な結論を推定し、クラス全体で発表・共有する。
5. 配付された振り返りカードに「自分の感想・結果」を記載し、ムーブノートで提出する。

▶ 授業の振り返り

ムーブノートを活用したことで、実験結果の共有がしやすく、結果の「ばらつき」も明確になった。話し合いをする際には、個々に端末を見るのではなく、グループで1台の端末を見合うことで、対話を促進させることができた。

活用アプリ：コラボノートEX

2学年【国語】

スイミー

本時のねらい：お気に入りの場面について、選んだ理由をはっきりと伝え合いながら、紹介しようとする事ができる。



▶ 授業の展開

1. 「スイミー」を読み、自分の「一番お気に入りの場面」を選ぶ。
2. コラボノートEXを活用し、自分が選んだ場面を友達に紹介する。
3. 友達の意見を聞いて、改めて「お気に入りの場面」を選び直す。
4. 選んだ場面についてコラボノートEXに理由を加えて記載して、クラス内に共有する。
5. 共有した内容を基に発表する。

▶ 授業の振り返り

コラボノートEXを活用したことで、選んだ場面や理由が視覚化され、分かりやすく説明することができた。場面の絵を画面上で動かすことができるため、自分の意見が変わっても、思考を整理することができた。

活用アプリ：Scratch・スクールライフノート

4学年【外国語活動】

What do you want?

本時のねらい：既習表現を使い、客と店員に分かれてオリジナルパフェを注文して完成させることができる。



▶ 授業の展開

1. 前時に触れた単語や、表現の復習をALTと交流する中で確認する。
2. ALTとHRTのデモンストレーションを見る。
3. Scratchで作成した「パフェづくり」の教材を活用し、注文したパフェを作成する。
4. スクールライフノートに自分や友達が、どんなことができたかを自己評価する。

▶ 授業の振り返り

Scratchで作成した「パフェづくり」の教材を活用したことで、「パフェ」が視覚化され、自分が欲しいパフェをすすんで伝えようとしたり、相手が欲しいパフェをすすんで尋ねようとする姿を見取ることができた。